

京阪橋本駅前 橋本陣屋跡に関する講演会 ご案内

京阪橋本駅前土地において、八幡市による埋蔵文化財発掘調査が実施され、『橋本陣屋跡』の一部とみられる遺構が確認されました。

これを受け、京都橋大学文学部歴史学科 後藤敦史准教授による講演会「幕末の政局と八幡一橋本陣屋跡遺構の出土に寄せて」を開催いたします、お子さま、お孫さまとご家族連れでぜひ、お越しください。

橋本陣屋跡とは

1860年(万延元年)～1868年(慶応4年)幕末の安政5年(1858年)、幕府が日米修好通商条約を締結したことにより、幕府と朝廷の関係が悪化。幕府は朝廷との関係修復のため、京都の警護・防備を朝廷に約束し、その一環として淀川沿いに台場等を設けた。橋本陣屋跡は、台場のひとつである「楠葉台場」の駐屯地として用いられていた。

講演
内容

幕末の政局と八幡 一橋本陣屋跡遺構の出土に寄せて

講師

京都橋大学 文学部 歴史学科 後藤敦史准教授

日時

2025年5月24日(土) 13:00～14:00

会場

京都府八幡市橋本焼野7-2
(京阪本線・橋本駅から徒歩約3分)

参加
方法

当日12:30～13:00に直接現地へ
お越しください(事前予約不要)

参加費

無料

ご来場のお子さまへ、
京阪電車オリジナルグッズを
プレゼント!



※写真はイメージです



※駐車場はありません。公共交通機関をご利用の上、ご来場ください。

※現地は、段差や整地されていない箇所がございます。歩きやすい服装でお越しください。

※現地には日陰がありません。熱中症対策はご自身でご準備願います。

※本講演会終了後、14:30より、現地にて八幡市教育委員会による現地説明会が開催されます。〈協力:京阪電鉄不動産(株)〉

お問い合わせ先

京阪電鉄不動産株式会社 事業推進部 開発企画チーム
電話番号:06-6944-2508(平日 10:00～18:00)

こころまち つくろう
KEIHAN
京阪電鉄不動産